

第22回 HiPSIセミナー

(Hiroshima University, The Research Core for Plant Science Innovation)

「コケと繋がる動物たち—フィールドワークの 現場で解き明かす」

講師：今田弓女 助教

愛媛大学 大学院理工学研究科

日時：2021年8月6日(金) 15:30-17:00

場所：理学部E209号室

湿った空気をまとう森の中には、多種多様なコケが生息しています。しかし、小さなコケが森林生態系においてどんな役割を果たしているかは、ほとんど分かっていません。近年、私はコケにきわめて巧妙に擬態しているシリプトガガンボ類の昆虫に注目しています。林床に広がるコケの絨毯は、いっけんすると動物による食害が少なく、したがってそれらを捕食するような大型動物も少ない"天敵不在の空間"と考えられてきました。しかし、コケに擬態する昆虫の進化は、それらを視覚的に狩る天敵が存在し、"コケを起点とした複雑な生物間相互作用網"が形成されていることを示唆しています。今回のセミナーでは、森林生態系のなかでコケが果たしてきた役割とその歴史について、昆虫および鳥との繋がりに光をあて、最近の研究内容と展望についてお話ししたいと思います。

お問い合わせ：嶋村正樹・山口富美夫 (mshima@hiroshima-u.ac.jp)